

グローバルな企業に並ぶ 世界基準の働き方で 人権や安全衛生に配慮

海外のトップブランドが取引企業に求めるのは、製品の品質だけではない。ブランドの価値や信頼を損ねないため、製造元に対してもコンプライアンスの遵守を徹底。人権や環境への配慮のない企業は社会的責任を果たしていないとされ、それだけで「アウト」。極めてシビアにジャッジされてしまう。

そのような世界的な流れを受け、ナカニシビジョンでは国際基準に対応できるよう、6年前からグローバルコンプライアンス体制の構築に力を注いできた。

従業員の働き方もその一つだ。国際労働基準の「労働・人権」「環境・安全・衛生」をベースに、社員全員が健康でいきいきと持てる能力を発揮できる職場環境を目指している。たとえばワークライフバランスの面では、2023年の有給取得率は73.1%、育児休暇取得率は100%。仕事とプライベートを両立できている従業員が多いことが読み取れる。残業時間は1分単位で計算して賃金に計上し、法令を厳格に守っている。

また、ハラスメント防止策もすべての職場において重要な課題としており、パートや派遣社員、外国人技能実習生も含む全従業員に対し定期的にハラスメント講習を実施。社内全員のコンプライアンス意識を高める取り組みを行っている。また、性別や年齢によらず個々の資質に合わせて活躍の場を設けるなど、公平性・平等性・多様性のある職場環境づくりを推進している。

環境面でも、CO₂の排出量をプログラムに基づき監視する他、工場内も騒音や温度などを定期的に測定。快適な労働環境を維持している。



社員数

270名

男女比 5 : 5 (2024年11月現在)

20～30代の割合

52.3%

平均有給休暇
取得日数

13日

平均勤続年数

10.3年

男女比が均等で、若手社員が多数活躍。有給消化率も高く、良好なワークライフバランスを実現している。経済産業省の「健康経営優良法人」、福井県の「ふくい女性活躍推進企業」の認定を受け、国内でも評価されている

働きやすい環境を作り 従業員を守るための コンプライアンス遵守

グローバルコンプライアンスへの取り組みは、取引上必要だからという理由だけではない。

従業員が健康で安全に働けるよう配慮する。それが何より大切だというのが、

ナカニシビジョンの考え方だ。

コンプライアンスと聞くと、「縛りがきつい」「ルールが厳しそう」といったイメージを持つ人もいると思うが、コンプライアンスは決して従業員を縛るためのものではない。むしろ全員がコンプライアンスを意識し、ルールを遵守することで、働きやすさや人権、安全な職場環境を守ることにつながっている。

製品の品質も働き方も世界基準。そこに確かなナカニシイズムが宿っている。